



平成31年1月16日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

冬休みが終わって、澄み切った空気の中に子どもたちの元気な声が響いています。

第3学期第一日目、登園してきて園庭で会った友達と「〇〇ちゃん、明けましておめでとう。」と、挨拶を交わす姿、そして、園に向かって歩いてくる友達を見つけて、「〇〇ちゃん。おはよー。」と、友達と手を振る姿など、友達に久しぶりに会ったことを喜ぶ沢山の姿が見られました。また、第3学期始業式では、「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。」と、挨拶をすると、子どもたちから声をそろえて新年のあいさつが返ってきました。友達と一緒にいる喜びを感じていることを感じました。第3学期は、年少組は年長組へ、年長組は小学校1年生へと次のステップに向かう大切な時です。子どもたちの、『友達と一緒にいるって楽しい。』という気持ちを大切に育て、『友達と一緒になら大丈夫！』『自分で（自分たちで）できる！』という自信が芽生えるように、職員一同心を込めて教育活動に取り組んでいきます。第3学期も、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちにお願したこと

酒匂幼稚園教育目標の「たくましく心豊かで調和のとれた子どもの育成」を目指して、第3学期の始業式で、「第3学期は、忍者で言うと修行の時です。」と話をして、子どもたちに次のような願いをしました。

さくら組

いろいろなことに、挑戦しよう！

さくら組さんは、「遠足に連れて行ってくれた年長さん。」「サッカーする姿がかっこいい年長さん。」「走るのが速い年長さん。」「わからないことを教えてくれた年長さん。」「おいしいものをごちそうしてくれた年長さん。」など、色々な年長さんの姿に憧れ、「年長さんみたいになりたい。」と思っています。今の年長さんのようになるためには、いろいろなことに挑戦して、諦めずに頑張ったり、一人でできない時は友達と力を合わせてやってみたりすることが大切だということを伝えました。第3学期の終わりに、様々な経験をして心も体も一回り大きくなり、自信に満ちた顔の子どもたちを見ることができるよう、子どもたちの思いに寄り添い、姿を認めながら生活を進めていきたいと思ひます。

ほし組・うみ組

自分たちだけでできることを増そう！

今まで一緒に生活してきた友達と過ごすのも、あとわずか。友達と、これまでの経験をフルに生かして、考えを出し合い協力して、自分たちの生活を自分たちの手で進めていくことができることを願っています。そうすることで、「自分たちだけでできる！」という自信や、「友達がいれば大丈夫！」という気持ちが芽生えると思ひます。そのことが、小学校へ行くための段差を乗り越える力になると考えます。そのために、子どもたちの生活を見守り、課題を解決するためのヒントになるようなことに出合わせることができるよう、一人一人の姿を大切に見守り、かかわっていきたく思ひます。

さくら組・ほし組・うみ組

挨拶を自分からしよう！

「おはようございます。」「さようなら。」だけでなく、「ありがとう。」「ごめんなさい。」など、様々な挨拶があります。挨拶をするには、時には勇気が必要だったり、すると気持ち良かったりします。地域の方も、「酒匂幼稚園の子どもたちのために！」と様々なご協力をしてくださっています。挨拶はコミュニケーションのはじめの一歩。みんなで場面にあった挨拶をして、心を通わせましょう。

年長さんが幼年消防クラブ出初式に参加しました



1月11日に、年長組のほし組・うみ組の子どもたちが、幼年消防クラブ出初式に参加しました。当日は澄み切った青空と空気の中、『防火のちかい』を言ったり『手のひらを太陽に』を踊ったりしました。凛とした表情の子どもたち。1年生の姿が見え隠れしていました。成長を感じるひと時でした。